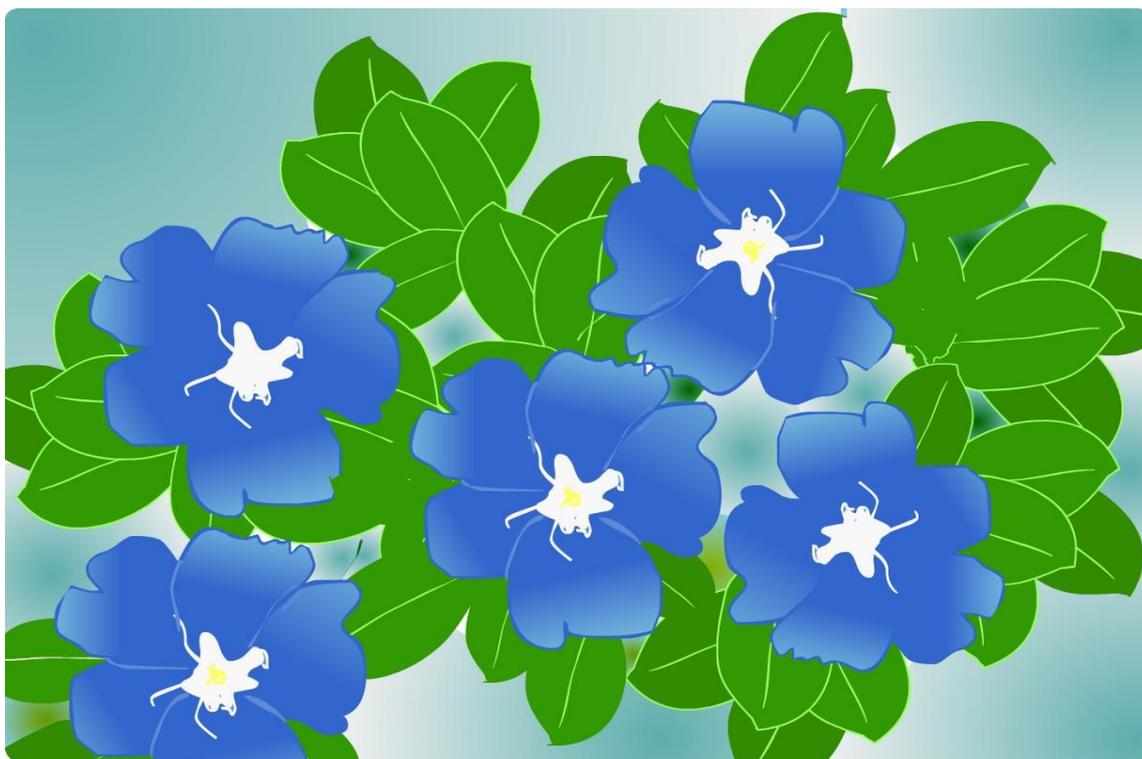


エコアクション21 環境経営レポート

【 第3版 】

活動期間 2024年4月 ~ 2025年3月



発行日 2025年6月19日



株式会社 コーナン

目次



1.環境経営方針	1
2.事業概要	2
3.エコアクション実施体制	3
4.環境経営目標	4
5.環境目標の実績と評価・次年度の取り組み内容	5
6.環境経営計画及び実施状況	6
7.具体的な環境経営活動	7
8.環境関連法規等の遵守状況	8
9.代表者による全体の評価と見直し	9



1.環境経営方針

基本理念

株式会社コーナンは、経営理念「自然がとけあう最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」の実現を目指し、建設業を通じて地域の暮らしを支え、地域に根ざした環境活動を推進するため継続的な環境保全活動に取り組みます。

行動指針

1.次の項目を重点項目として取組み、実施状況や結果を定期的に評価した上で、必要な見直しを行い、継続的改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量(ガソリン・電力等)の削減、エネルギーの効率利用を図る
- ② 節水に努め、水使用や排水の適切な管理に努める
- ③ 廃棄物の排出を抑制し、産業廃棄物の再資源化率向上を進める
- ④ グリーン購入の推進により、環境にやさしい地域交流を維持する
- ⑤ 環境に配慮した施工管理を徹底させる
- ⑥ 職場、現場の整理整頓、美化を徹底させ、安全で働きやすさを追及する

2.事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。

3.全社員に環境経営方針を周知させ、環境保全の重要性を高めるように啓発します。

制定日 2023年 4月 1日



株式会社 コーナン

代表取締役 柴山 博展

2. 事業概要

1. 事業所名及び代表者

会社名 株式会社コーナン
代表者 代表取締役社長 柴山 博展
設立 平成25年 2月 26日
資本金 1000万円

2. 所在地

本社 〒874-0947 大分県別府市浜脇1丁目4076-8
倉庫 〒874-0025 大分県別府市亀川字清源庵457-2

3. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 柴山
事務局 則行
連絡先 電話 0977-77-1119
FAX 0977-77-1555
e-mail koohnan570@ctb.ne.jp

4. 主な事業内容

建設業(土木工事・とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、管工事業)

5. 事業規模

*人数、台数、面積は、各期末時点

	単位	R6年 6月期	R5年 6月期	R4年 6月期
売上高	百万円	443百万円	375百万円	362百万円
従業員数	人	10	9	9
保有車両	台	12	11	11
延床面積	m ²	25m ²	25m ²	25m ²

6. 事業年度

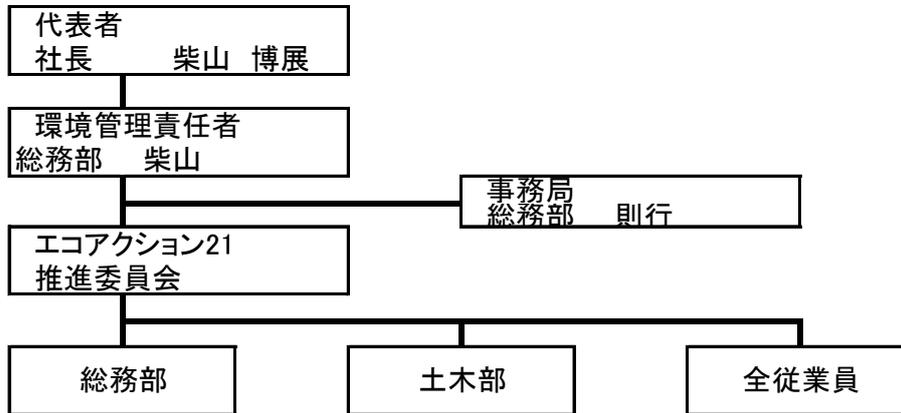
7月～6月

7. 環境経営の対象範囲

全組織、舗装工事業、管工事業、土工工事業

3.実施体制

環境経営組織図



エコアクション21に関する役割と責任及び権限

区分	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者を任命する ・経営における課題とチャンス进行明確にする ・環境経営方針を策定(更新)する ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体評価及び目標見直し指示を実施する ・環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会を統括する ・環境関連法規等のとりまとめ表及び遵守評価結果を承認する ・各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制を承認する ・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する ・問題点に対する是正処置、再発予防処置を承認し、結果を評価する ・環境経営レポートを確認する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐する ・エコアクション21推進委員会の事務局を兼ねる ・環境関連文書類を作成及び管理する ・環境経営に関する目標や実績をとりまとめる ・外部コミュニケーションに関する受付窓口を担当する ・環境経営レポートを作成する
エコアクション21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画を共有する ・効果的な活動を推進するため、部門間の連携を図る ・環境活動に関する取組状況や課題を報告、共有する ・環境教育、環境コミュニケーションを計画、実施する
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境経営目標、環境経営計画を作成し、取組み推進する ・自部門の環境経営システム運用状況を、推進委員会に報告する ・自部門の活動に必要な手順書を作成、管理する ・自部門の問題点を抽出し、是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などを理解し、自らの役割を認識する ・環境活動に自主的、積極局的に参加し、改善提案に努める

4.環境経営目標

活動期間:4月～翌年3月

環境経営目標	単位	基準年 2022年度	目標値		
			2023年度 (1%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (3%削減)
			2023年4月 ～ 2024年3月	2024年4月 ～ 2025年3月	2025年4月 ～ 2026年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	101,588	100,573	99,557	98,541
(1) 電気使用量削減					
事務所及び倉庫	kWh	3,948	3,909	3,870	3,830
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	21,630	21,414	21,198	20,982
(3) 軽油使用量削減	ℓ	19,335	19,142	18,949	18,755
1-2. 二酸化炭素の発生抑制					
エネルギーの効率使用管理					
(1) 現場の電力	kWh	0			
(2) 灯油 使用量把握	ℓ	355	352	348	345
二酸化炭素総排出量 実績		101,336			
2. 資源の有効活用					
一般廃棄物の分別管理		分別管理	環境経営計画に沿って、資源有効利用を促進する		
産業廃棄物の再資源化率	%	100	100	100	100
3. 水資源の効率使用		環境経営計画に沿って、資源有効利用を促進する			
4. グリーン購入の促進		積極的購入に努める			
5. 環境に配慮した施工管理		環境に配慮した機械の選定・優先的使用に努める			
6. 事務所、現場の周辺清掃		社会貢献活動への積極的参加に努める			

備考

- ・電力の二酸化炭素排出係数は、0.385kg-CO₂/kWh(九州電力 2021年度・調整後)を使用した。
- ※産廃のリサイクル率の対象は、建設リサイクル法の対象廃棄物とする。

5.環境目標の実績と評価・次年度の取り組み内容

対象期間：2024年4月～2025年3月

評価基準：⇒○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

		2022.4～2023.3		2024.4～2025.3			
	選択課題	基準年度 2022年度	2024度 目標△2%	2024度 実績	目標 達成率		評価
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量) kg-CO2	101,588	99,556	101,336	98%		△
評価と 次年度の取 組内容	①目標未達成 ②要因は工務室増設・受注工事が増えたため。電気料の高騰 ③次年度は今回の実績よりCO2排出量をへらすことを目標とする						
1-1	電力消費量（電気使用量）kW	3,948	3,869	5,620	69%		×
評価と 次年度の取 組内容	①目標未達成 ②要因は工務室を増設したことで電気使用料が増えた ③次年度は電気料の削減に努力する						
1-2	ガソリン消費量（ガソリン使用量）ℓ	21,630	21,197	20,520	103%		○
評価と 次年度の取 組内容	①目標達成 ②現場への乗り合わせ、エコドライブの積極的な働きかけがよかった ③今後も活動を継続していく						
1-3	軽油消費量（軽油使用量）ℓ	19,335	18,948	19,812	96%		△
評価と 次年度の取 組内容	①目標未達成 ②市外の現場や大型重機使用で使用料が増えた ③現場等で使用料は上下するが、ダンプの使用はエコドライブを推進し意識向上を高める						
2	廃棄物排出量（廃棄物排出量）	819,964	803,565	1,785,800	45%		×
評価と 次年度の取 組内容	①目標未達成 ②舗装工事が多かったため産廃の量もふえた ③排出量を抑えるよう努力する						
3	水使用量 (水使用量) m ³ 6月	3,471	3,402	3,436	99%		△
評価と 次年度の取 組内容	①目標未達成 ②要因は工務室増設の為基本料金・使用量が増えた ③次年度は今回の実績より減らすことを目標とする						
5	環境に配慮した工事の実施		優先的購入 に努める	優先的購入 ができた	100%		○
評価と 次年度の取 組内容	①目標達成 ②エコ商品を優先して購入した ③今後も活動を継続していく						
6	社会貢献への参加	地域の清掃活 動やボランティア 参加1回	1	1	100%		○
評価と 次年度の取 組内容	①目標達成 ②現場付近の清掃、事務所周辺清掃 ③今後も活動を継続していく						

6.環境経営計画及び実施状況

判定基準 ○:できた △:改善余地あり -:対象外

環境経営方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	推進責任者	実施状況
1	二酸化炭素排出量削減			
1-(1)	電力使用量削減 (事務所及び倉庫)	1. 昼休みの消灯	管理責任者	○
		2. 人がいない場所の照明OFF	管理責任者	○
		3. 夏季エアコン28℃	管理責任者	△
		4. 冬季エアコン20℃	管理責任者	○
		5. OA機器の節電モード徹底	管理責任者	○
1-(2)	ガソリン使用量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	管理責任者	○
		2. エコドライブの励行	管理責任者	○
		3. 急発進や空ぶかしはしない	管理責任者	○
		4. 不必要なアイドリングをしない	管理責任者	○
1-(3)	軽油使用量削減	1. エコドライブの励行	管理責任者	○
		2. 積載量の管理	管理責任者	○
		3. 急発進や空ぶかしはしない	管理責任者	○
		4. 不必要なアイドリングをしない	管理責任者	○
1-2	二酸化炭素の発生抑制			
1-2-(1)	現場の電力使用効率管理	1. 不要、不在時の消灯を徹底させる	管理責任者	○
		2. エアコンは、健康に配慮してオン、オフを	管理責任者	○
		3.		
		4.		
1-2-(2)	灯油の効率使用管理	1. 人がいないときは暖房器具OFF	管理責任者	○
		2. 暖房機の定期的な清掃	管理責任者	○
		3. 暖房を定期的に止め換気を行う	管理責任者	○
		4.		
2	資源の有効活用			
2-(1)	一般廃棄物の分別管理	1. 裏紙活用	管理責任者	○
		2. PDF・メールの活用	管理責任者	△
		3.		
2-(2)	産業廃棄物の再資源化率 100%の維持	1. 支障なき箇所に再利用を行う	管理責任者	○
		2. 分別ルール of 徹底	管理責任者	○
		3. 適正なマニフェスト管理	管理責任者	○
		4.		
3	水資源の効率使用	1. 節水の呼びかけ	管理責任者	○
		2.		
		3.		
4	グリーン購入の促進	1. エコ対象品を購入推進	管理責任者	○
		2.		
		3.		
5	環境に配慮した施工管理	1. 環境配慮型の重機を使用する	管理責任者	○
		2. 環境に配慮した施工法の採用	管理責任者	○
		3.		
6	事務所、現場の周辺清掃	1. 事務所周辺清掃	管理責任者	○
		2. 現場周辺清掃	管理責任者	○
		3.		

7.具体的な環境経営活動



エコドライブの推進



環境に配慮した施工



こまめな掃除で電気代の節約



電力消費量の削減



水使用量の削減



整理整頓呼びかけ

8.環境関連法規等の遵守状況

遵守評価実施日 2025年5月30日

評価者 柴山 博展

○:遵守 ×:非遵守 ー:該当なし

法令等の名称(略称)	当社に適用される要求事項	評価
廃棄物処理法	・委託契約書	○
	・マニフェストの管理(保管は5年間)	○
	・マニフェスト交付状況報告(毎年6月までに)	○
	・産業廃棄物置場の表示	○
	・産業廃棄物の分別保管と適正な管理	○
建設リサイクル法	・発注者への書面による説明	○
	・特定建設資材の再資源化	ー
	・着工前の届出及び環境報告	ー
騒音規制法	・地域別騒音規制基準の遵守	○
	・実施前に近隣住民への事前案内	○
振動規制法	・地域別騒音規制基準の遵守	○
	・実施前に近隣住民への事前案内	○
水質汚濁防止法	・有害物質を含む浸透水を地下に浸透させない	ー
	・事故時の届出	ー
道路交通法	・道路における対象工事の許可申請	○
	・アルコール検知の実施及び記録	○
	・エコドライブの推進	○

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。

なお、関連機関からの指導や訴訟もありません

9.代表者による全体の評価と見直し

評価対象の期間	2024/4/1～2025/3/30		
見直し実施日時	2025年 5 月 30 日(金)	場所	事務所
出席者	代表者 柴山 博展	環境管理責任者 柴山	
		事務局	則行

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	問題なく対応、実行できている。	今後も継続して実施していく。
2 環境経営目標の達成状況	工務室の増設、舗装工事受注が増えたため、電気料・産廃の量も増えた。	受注工事量等により環境負荷が大きく左右されるが、設定した環境の取り組みを積極的に実施していきましょう。
3 環境経営計画の実施状況	環境配慮活動については、もう少し活動の幅を広げる事ができそうだと感じている。	改善できる事を再度確認し、全社員で意識を高めましょう。
4 問題点の是正、予防の状況	未達成の項目は原因を追究し解決に向けて検討し改善していきたい。	原因追及に努め、改善案を作成すること。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	期間中の苦情の受付はありませんでした。	今後も継続して実施していく。
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	工務部で訓練実施済み。	今後も継続して実施していく。
7 その他	特になし。	

代表者 の見直し の 指示 の 必要 性 判断 と 内容	①環境経営方針	継続していく。
	②環境経営目標	継続していく。
	③環境経営計画	新たな取り組みを行い、全社員が目標をもって行動できるようにする。
	④実施体制	継続していく。
	その他、環境経営システムの円滑な運用を維持するために必要な、見直し、留意ポイントの指示	今後も全社員が積極的に削減の意識向上を念頭に置き、環境改善に取り組んでいきたい。